



## 校長先生の心配事を解決しよう

先日、6年生が校長室にやってきました。

「校舎でかくれんぼをしたいです。体育館の倉庫と……を入らないようにしてしたいんですけど、いいでしょうか。」

どうやら、全校レクの取り組みのようです。

すぐに「いいですよ」と言いたいところですが、

学校の教育目標「たくましい子ども」（努力する方法を知っている子ども）を育てる

ためには、ここでワンクッション必要です。

私は次のように言いました。

「それは楽しそうだ。……でも、ちょっと心配なことがあって……。

①今、場所を言葉で説明してくれたけど、6年生が思っている場所と私がイメージした場所が違うかもしれないから、場所を図に描いてきてください。そしたら、思い違いがなくなるね。

②前、先生も学校かくれんぼをしたことがあるんだけど、『ここは入っちゃいけないよ』と約束していても、ゲームが始まると興奮して入ってはいけない場所に隠れちゃう子どもがいるんだよね。そうすると、『ずるい』『いいや聞いていない!』なんてことになって、楽しくなくなっちゃうんだよね。だから、そんなことが起こらないようにするには、どうすればいいか考えてきてください。」

頷きながら聞く6年生。そして「わかりました。考えてきます。」と言ってくれました。

しばらくして、①の図を描き、②の対策を考えてきてくれました。

このようにして

- ・何かをするときには、自分たちで段取りやルールを考える必要がある。
- ・試行錯誤しながら、物事を成し遂げていくことの難しさと達成感。



当事者意識

を育てていきたいと考えています。

「校長先生」の心配事を見事に解決した6年生。

とても頼もしい、よい表情をしていました。

さて、「校長先生」の次の心配事は……。

